

# Schedule

## 4・3階展示室

特別企画展 同時開催

### 池大雅 —文人たちの交流—

2020年8月12日(水)～9月22日(火・祝)

池大雅は京都に生まれ、幼い頃から書をよくし、文人画といわれる分野で活躍しました。中国に端を発する「文人」たちは、諸国を行き来して知見を深め、大雅自身も中国の文人画に学びながら、同時代を生きる知識人たちと交わりました。さらに没後は多くの文人たちが、大雅への憧れを口にしています。本展では、池大雅美術館から京都府に寄贈されたコレクションを中心に、大雅をめぐる文人たちの交流をご紹介します。



池大雅「山亭小酌之図」(部分)

### 木島櫻谷と京都画壇 京都 三条・大橋家コレクション

江戸時代中期から続く旧家の大橋家の分家、初代大橋重助は三条御倉町に家を構え、西村總左衛門家が「菅む染織業(現・千總)」と深くかかわりながら平成まで続きました。今回の展示では、京都府に寄贈を受けた資料の中から、大橋家四代の大橋松次郎と深い交流のあった木島櫻谷・谷口香嶠・猪飼嘯谷ら京都画壇の作品を中心に展示。あわせて大橋家の歴史をひもといて紹介します。



木島櫻谷「初夏・晩秋」(部分) 京都府蔵

### 京都文化カプロジェクト関連事業 舞妓モダン

2020年10月6日(火)～11月29日(日)

舞妓。いまや京都を代表する文化の一つとして知られていますが、その歴史の詳細は意外にも知られていません。どのようにして舞妓は京都のシンボルとなっていったのでしょうか。本展では、芸舞妓の誕生から、近代京都において、舞妓が京都のシンボルとして成長していく過程を絵画作品および風俗資料、歴史資料などから紹介します。



竹内栖鳳「アレタ立に」(1909)  
高島屋史料館蔵  
11月3日～11月29日展示

### 木梨憲武 Timing—瞬間の光り—

2021年2月16日(火)～3月28日(日)

国内だけでなく、ニューヨーク、ロンドンでも個展を開催してきた木梨憲武。本展は25年にも及ぶ創作活動から、厳選された作品を一堂に集めた画家・木梨憲武の集大成です。その表現活動は、絵画、ドローイング、オブジェ、映像作品から木梨の広い交友関係を活かしたコラボレーション作品まで多岐にわたります。代表作から最新作まで「木梨ワールド」の現在を余すところなく紹介します。



木梨憲武《3116》  
2015年  
©NORITAKE KINASHI

## 4階特別展示室

### Kyoto Art for Tomorrow 2021 —京都府新鋭選抜展—

2021年1月23日(土)～2月7日(日)

新進作家による卓抜した創造性、技術を備えた作品を紹介します。あわせて別館ホールでは、特別出品作家(2020年度:高嶺格)による展示を行います。

## 3階総合展示室

### 京都工芸美術作家協会展 —創立75周年記念—

2021年1月15日(金)～2月7日(日)

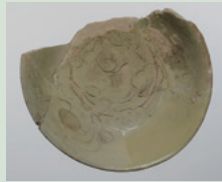
京都工芸美術作家協会の創立75周年を迎えるのを機に、陶磁、染織、漆、金工、人形、ガラス、七宝、木工など多岐にわたる分野の会派を超えた現代京都の工芸美術作家の多彩な作品約250点を展覧します。

## 2階総合展示室

### 京の翠とわざの粋—緑釉陶器と緑釉瓦—

2020年4月11日(土)～8月30日(日)

京の人々に好まれた緑釉陶器と緑釉瓦に焦点をあて、その奥深さと面白さをご紹介します。



石作兼跡出土の緑釉陶器片

### 皆川月華・泰蔵

2020年6月20日(土)～9月13日(日)

日本近代染色において先駆的な役割を果たした皆川月華(1892-1987)の作品を中心にをご紹介します。



皆川月華  
双鶏 1963年

### 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝10

2020年8月22日(土)～10月18日(日)

公家の名家、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料の中から、国宝「御堂関白記」を始めとする選りすぐりの名品をご紹介します。

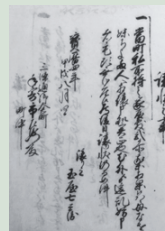


春日権現霊驗記絵巻 巻第20 陽明文庫蔵

### 町のちから—三条御倉町文書の世界—

2020年9月5日(土)～11月1日(日)

あらたに当館に寄託された「三条御倉町文書(木島家文書)」を通して平安時代以来、政治的・経済的な拠点として京都の歴史を語る上で重要な地域であった三条御倉町(三条通烏丸西入)の歴史と文化を辿ります。



謄状写  
江戸時代中期～後期(個人蔵)

### 京都府内の学校所在資料展

—「京一中」「府一」「京二中」のたからもの—

2020年9月19日(土)～12月6日(日)

2016年、2018年に続き、京都府内の学校が収蔵・利用・継承してきた資料を紹介します。今年度はとくに旧制中等学校由来の品々に注目します。



京一中地歴同好会の収集した各地の案内  
京都府立鴨沂高等学校蔵

※新型コロナウイルス感染症予防のため、会期や展示期間の変更・入場制限等を行う場合があります。最新情報は当館ウェブサイト、または当館公式ツイッターでご確認ください。  
※2階総合展示室は、期間中、展示替のため休室する場合があります。

### 中川伊作と南蛮陶器の世界

—沖縄に魅せられて—

2020年10月24日(土)～12月6日(日)

京都の版画家中川伊作が魅せられ蒐集した南蛮陶器(沖縄の焼き物)を中心に、自身の作品も併せてご紹介いたします。



片口 個人蔵

### 近代博覧会と京都の産業

2020年11月7日(土)～2021年1月11日(月・祝)

京都は他都市に先駆けて明治4年に京都博覧会を開催。これは東京震動や廃仏毀釈などで大きなダメージを負った京都の産業を復興するための重要な事業のひとつでした。近代京都の一端を再検証します。



也阿弥ホテル

### (公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター設立40周年 動乱の世から太平の世へ—かわりゆく人のくらし—

2020年12月12日(土)～2021年1月31日(日)

戦国時代から江戸時代の京都の暮らしや文化を発掘調査の成果から紹介します。



京焼茶道具(皆具) 寺町旧域出土  
公益財団法人京都府埋蔵文化財  
調査研究センター管理

### 雛人形名品展

2021年2月2日(火)～4月4日(日)

京都府の収蔵する雛人形より、選りすぐった優品を展示いたします。



古今雛 江戸時代後期

### 映画『羅生門』展

2021年2月6日(土)～3月14日(日)

ヴェネチア国際映画祭での金獅子賞受賞などにより黒澤明の名を世界に知らしめた、日本映画史上の傑作『羅生門』が劇場公開から70年、監督生誕110年になります。それを記念し、作品の魅力を様々な視点で感じていただくと同時に、作品が制作された大映京都撮影所の歴史についてもご紹介します。